

意見交換会を実施しました

11月22日から12月3日にかけて、28地区(17カ所)で各地区の自治会連合会をはじめとする地区関係団体との意見交換を実施しました。



意見交換会における主な意見

- ・断水時の給水体制のあり方
- ・井戸水の活用についての検討
- ・避難所の配置、運営のあり方
- ・避難行動のあり方
- ・情報伝達のあり方
- ・災害時の交通手段の確保
- ・備蓄品・支援物資の拡充
- ・復旧工事・支援制度拡充の要望など

地区ごとの計画を作成します

特に大きな被害のあった次の地区では、ワークショップを開催し、復旧・復興に向けた地区計画を作成します。(31年度予定)

- ①天応地区
 - ②安浦地区(安浦駅周辺地区、中畑・下垣内地区、市原地区)
- ※30年度は各地区3回程度の開催を予定



今回のワークショップは、地区計画を策定するに当たり、地域の色々な立場の住民が、話し合いや協働作業などを通じてまちづくりに関する考え方を共有しながら、住民自らが考えた各地区での復旧・復興に向けたまちづくりの方向性をとりまとめ、市へ提案していただくものです。

復興計画検討委員会

これまで、学識経験者や関係団体などの皆さんで構成する検討委員会を2回開催し、それぞれの立場から専門的な知見や意見をいただいています。

検討委員会の開催状況は、ホームページで確認できます。



▶検討委員会による現地視察の様子



復興計画の策定に向けて

地区住民や各種団体、企業などとの意見交換やパブリックコメントの実施などを通じて、皆さんの声を計画づくりに反映するとともに、市民の皆さんや国・県などの関係機関との連携を図りながら、計画を着実に推進し、被災する前以上に呉市が元気で幸せなまちになるよう復興に向けて取り組んでいきます。

問 復興総室 ☎ 25-5623

復興に向けて

呉市復興計画
を策定します



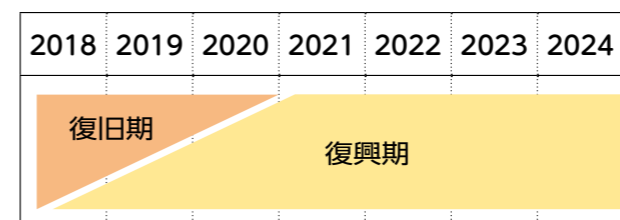
被災された市民の皆さんが当たり前の生活を取り戻し、呉市が災害に強い幸いで魅力的な都市として、復活・再生できるよう、また、皆さんがイキイキと働き、わくわくと暮らすことができることに、元気ににぎわいを取り戻して、観光客が訪れてみたいと思えるような交流都市を目指し、皆さんの声をお聞きしながら計画を策定していきます。

皆さんの声をもとに進めていきます

復興計画の期間

今回の災害から7年後の姿を見据え、復旧・復興に向け、着実に取り組みます。より長期的な視点で取り組むべき課題には、2025年以降も継続して取り組んでいきます。

- 復旧期：生活や産業の再建に不可欠な住宅や生活基盤、インフラなどの復旧を重点的に実施する期間(概ね3年)
- 復興期：継続的な復旧事業に取り組むとともに、新たな魅力と活力ある地域を創ることで、これまで以上に元気で幸せなまちを目指す期間(概ね7年)



復興計画とは

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興の実現に向けた基本的な考え方を示していくもので、今後取り組んでいく施策を体系的に定め、着実に実行していくために策定するものです。

復興計画の4つの施策と主な取り組み

- (1) 住まいと暮らしの再建
 - ・被災者支援
 - ・子ども、子育て家庭の支援
 - ・廃棄物、土砂処理
- (2) 災害に強い安全・安心なまちづくり
 - ・土木および上下水道施設の強じん化
 - ・交通対策
- (3) 産業・経済の復興
 - ・産業支援(中小企業支援、観光支援、農水産業支援)
- (4) 今後の防災・減災に向けた取組
 - ・防災・減災意識の維持・向上